

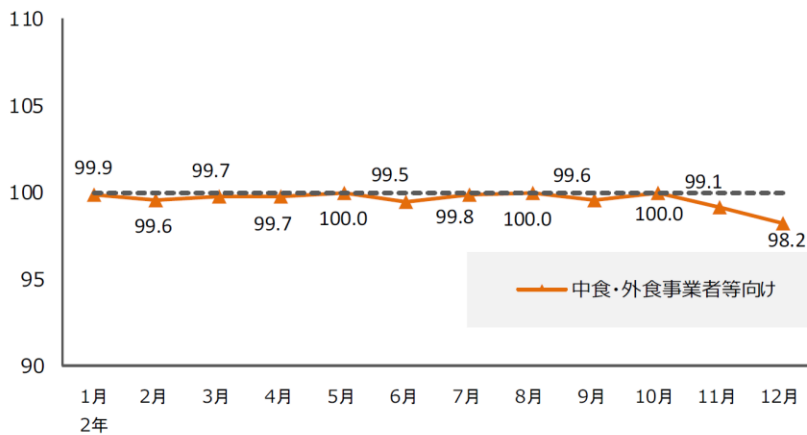
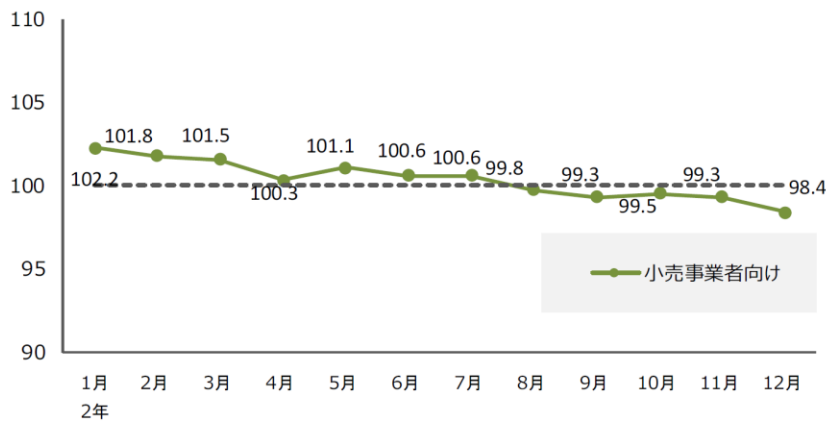
米販売事業者の販売数量及び販売価格の動向（農水省調査:12月現在）

- 令和2年12月の販売数量(前年同月比)は、小売事業者向け108%、中食・外食事業者等向け92%で販売数量は100%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年から米の需要は停滞している。特に4、5月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 前年同月を基準にした令和2年12月の販売価格の値動きは、小売事業者向け98.4、中食・外食事業者等向け98.2。

1 販売数量の動向（前年同月比）

	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	101%	110%	124%	110%	95%	104%	103%	105%	102%	103%	101%	108%
中食・外食事業者等向け	98%	99%	88%	75%	76%	89%	86%	85%	89%	92%	92%	92%
販売数量計	100%	105%	108%	94%	86%	97%	95%	95%	96%	98%	97%	100%

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンを以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。